

平成29年度(2017年度)

管理事業名	青少年クリエイティブセンター事業				総合計画の体系	第4章 第1節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
主な歳出 予算科目	一般会計	(款)	10	教育費	(項)	5	社会教育費	(目)	7	青少年クリエイティブセンター費
部局名	地域教育部	予算執行所属	青少年クリエイティブセンター							
予算大事業名 施設管理事業 施設運営事業 施設改修事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名									
事業の目的と概要 【施設管理事業】施設や設備の維持管理に係る清掃業務・警備業務・空調設備・エレベータなどの保守点検業務、備品等の管理修繕、運営審議会の開催、運動広場の維持管理、施設利用者の保険加入、公共料金や消耗品購入、非常勤職員報酬等支出などの施設管理経費に係る経理事務等を行います。 【施設運営事業】青少年の学習活動と子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図るため、学習活動の推進(体験活動事業・養成事業・学習支援事業)、交流の推進(利用者交流事業・教室事業・自主活動支援事業)、子育て支援の推進(人権講座・相談事業・子どもすこやか広場事業)、情報の提供(情報収集提供・広報誌の発行)等を行います。 【施設改修事業】青少年クリエイティブセンター主催事業の運営や施設利用者の活動に支障がないよう施設の改修を行います。										

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
施設利用者数	人	58,887	66,056	75,854	施設利用者数、目標利用者数67,720人
主催事業の参加者数	人	9,037	8,636	11,430	主催事業の参加者数、目標参加者数10,392人
成果の説明	青少年の学習活動と保護者の子育て等を支援し、青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることを目的として、青少年の健やかな成長と人権感覚の豊かな青少年の育成等の成果を上げています。活動指標として事業の内容を精査しつつ継続して事業を実施する必要があります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	1	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	412	253	147	△106
経常収入 小計(a)	413	253	147	△106
給与関係費	58,090	57,346	57,363	17
物件費	32,347	34,424	27,445	△6,980
維持補修費	2,587	8,746	16,857	8,111
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	3,786	4,207	4,549	342
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	12,069	12,775	16,306	3,531
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,038	3,090	3,133	43
退職手当引当金繰入額	2,341	1,859	2,915	1,055
支払利息	21	15	9	△6
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	114,278	122,462	128,576	6,114
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△113,865	△122,209	△128,429	△6,220
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△113,865	△122,209	△128,429	△6,220
一般財源充当額	103,866	175,994	112,993	△63,001
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△9,999	53,785	△15,435	△69,221

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 その他	雇用保険料本人負担分52千円 事業参加費95千円
給与関係費	職員人件費、非常勤職員報酬
物件費	施設管理委託料 20,642千円 需用費(光熱水費等) 3,536千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	413	179	147	△32
行政サービス活動支出	103,831	111,005	112,680	1,675
行政サービス活動収支差額	△103,418	△110,826	△112,533	△1,707
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	64,714	-	△64,714
投資活動収支差額	-	△64,714	-	64,714
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	448	454	460	6
財務活動収支差額	△448	△454	△460	△6
収支差額 合計	△103,866	△175,994	△112,993	63,001
一般財源充当額	103,866	175,994	112,993	△63,001
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動収入) 諸収入 147千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	利用者1人当たりのコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あたりのコスト	平成27年度	58,887人	1,941円	青少年クリエイティブセンターの年間の施設利用者数で算出し、利用者1人あたり1,695円のコストがかかっています。年間の利用者が増加したため、1人あたりのコストが減少しました。
	平成28年度	66,056人	1,853円	
	平成29年度	75,854人	1,695円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	3,550	3,560	10
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	3,090	3,133	43
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	460	427	△33
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	5,063,942	5,047,636	△16,306	固定負債	34,789	33,909	△880
土地	4,840,217	4,840,217	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	222,855	207,003	△15,852	長期借入金	-	-	-
リース資産	869	416	△454	退職手当引当金	34,362	33,909	△453
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	427	-	△427
無形固定資産	74	74	-	その他固定負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	負債の部合計	38,339	37,469	△870
土地	-	-	-	純資産	5,025,677	5,010,242	△15,435
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
出資金	-	-	-	基金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	-	-	-	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	5,064,016	5,047,710	△16,306
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	5,064,016	5,047,710	△16,306

Ⅲ 財務構造分析

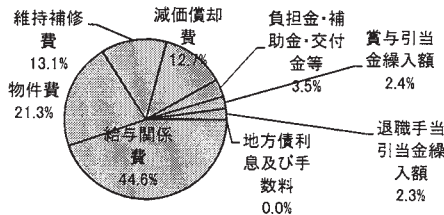
▼人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均 5人	月平均 7人	年間従事延日数 日	実人数 15人	
給与関係費等	43,007千円	20,219千円		185千円	63,411
内、時間外勤務手当	1,210千円				

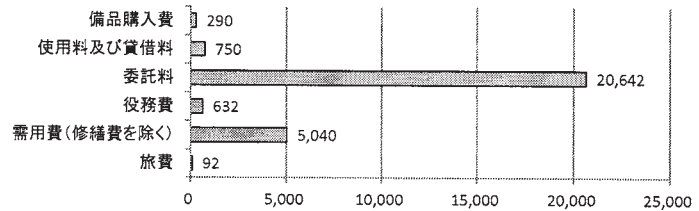
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	減価償却費12,775千円 屋上防水改修工事16,048千円
リース資産	リース資産(パソコン16台)に係る返済債務460千円
無形固定資産	電話加入権74千円

▼経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▼施設の概況

施設の名称	青少年クリエイティブセンター
取得年月日	昭和56年(1981年)4月1日
建物・工作物の取得価額	636,452千円
建物・工作物の減価償却累計額	429,449千円
利用料金収入	-千円

▼分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率	0.5	1.4	2.6	1.2
施設老朽化比率	70.2	65.0	67.5	2.5
受益者負担比率	0.0	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.6	99.9	99.9	0.0
経常費用対公共資産比率	20.0	19.2	20.2	1.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▼分析結果の説明

経常経費の主なものにつきましては、給与関係費57,363千円(44.6%)、物件費27,445千円(21.3%)、減価償却費16,306千円(12.7%)、維持補修費16,857千円(13.1%)となっています。物件費の主な内訳としては、施設管理事業の委託料が20,642千円(81.2%)、光熱水費が3,536千円(13.9%)を占めています。経常収入の主なものにつきましては、その他の収入として非常勤職員に係る雇用保険本人負担分53千円、事業参加費95千円が内訳です。

▼分析結果を踏まえた事業の課題

センターは、昭和56年(1981年)に建設されてから35年が経過し、電気、機械、空調設備等の老朽化が進行しています。そのため、平成28年度に空調設備改修工事、平成29年度は屋上防水改修工事を実施しました。今後も施設の機能を維持するためには設備の更新、補修等が必要になると見込まれます。利用者が安全かつ安心して利用できる施設改修を優先的に行ってまいります。また、センターの事業においても、予算を充てるべき事業、また、経費を削減できる事業を精査し、より効率的な予算配分ができるよう努めてまいります。